



康心会汐見台病院

産科だより

令和3年

◆妊婦さんへの新型コロナウイルスワクチン

日々の感染状況はかなり心配になるところで、妊婦の皆様はより心配されているのではないのでしょうか。テレビなどで報道される内容は一部であり、とくに高齢者に対し、焦点が当てられているような気がします。妊婦さんに関しては、あまり大々的に触れない印象です。そこで、今回は日本産婦人科学会から提示されているものがありますので、みなさんに共有したいと思います。

ワクチン接種に関する情報では、妊娠初期を含め妊婦さんとお腹のあかちゃん双方を守るとされています。また、お母さんや赤ちゃんに何らかの重篤な合併症が発生したとする報告もありません。

以下は妊婦さんを対象とする内容です。

①アメリカ疾病対策センター（CDC）は、妊婦さんへのワクチン接種を強く推奨すると声明を出しています。

②妊婦が感染する場合の約8割は、夫またはパートナーからの感染です。

③妊娠中、とくに妊娠後期（妊娠28週以降）に新型コロナウイルスに感染すると、重症化しやすいとされています。

④糖尿病、高血圧、気管支喘息などの基礎疾患を合併している方はぜひ接種をご検討ください。

⑤副反応に関し、妊婦さんと一般の人に差はありませんが、発熱した場合には早めに解熱剤を服用するようにしてください。アセトアミノフェン（カロナール）は内服していただいて問題ありません。頭痛のみの場合も内服していただいて構いません。

⑥副反応の有無に関わらず、妊娠の異常（流産、早産、その他）の頻度はワクチンを打たなかった妊婦と同じであると報告されています。

接種を希望される場合は、以下の点に注意してください。

・ワクチン接種の予診票には、「現在妊娠している可能性はありますか。または授乳中ですか。」という質問がありますので、「はい」にチェックしてください。

・あらかじめ健診先の医師に接種の相談をしておきましょう。接種してもよいと言われたら、その旨を接種会場の問診医に伝えて、接種を受けてください。

・妊娠中の方で、里帰り先の住民票と異なる居住地の産科医療施設で接種を受ける場合、「住所地外接種届」は提出不要です。ただし、接種場所により必要な場合もありますので、里帰り先の行政機関にお問い合わせください。

・予定された2回のワクチン接種をしても、これまでと同様に感染予防対策（サージカルマスク）の適切な着用、手洗い、人混みを避けるなど）は継続してください。

詳細は日本産婦人科学会のホームページ、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）関連情報に掲載されていますので、ご覧ください。

当院でも妊婦さんへのワクチン接種を行っています。まだ未接種で、希望のある方は横浜市にお問い合わせください。

◆今月の赤ちゃん



みなさんはこの子がどんなシチュエーションでこの表情をしていると思いますか？写真だけ見ると、困っているような気がしますが、これは沐浴後のスキリした表情・・・のはずです（笑）



◆産後ケアについて

新型コロナウイルス流行の影響で、里帰りが不可能の方を対象に、横浜市で産後ケアサービス費用の助成を行っているそうです。産後のお手伝いに来られなくなった、里帰りできなくなったなど、産後サポートでお困りの方、また来月の産科だよりでお伝えします。

担当…郷原